



セントポールズ・リリー

立教セカンドステージ大学 社会貢献活動サポートセンター

RSSC プラチナ社会創造研究会

ニューズレター

Vol.2 Jul, 2016

トピックス

本年度取り組む「豊島区・秩父市共生PJ」は、既に DAY1・DAY2 の活動を終わりました。これからいよいよ本格的な取りまとめの段階となる DAY3・DAY4 を迎えることとなりますが、中間報告として DAY1・DAY2 の活動内容について下記に活動のその活動の内容を報告をいたします。当活動は、6期生から9期生まで多世代で活動するPJであり、会員のみなさまの今後益々の積極的なご参加よろしくお願い致します。

(代表 小池久雄)

第2回7月 研究会報告

- ☞ DAY1 基調講演「生涯活躍のまち、いつでも輝ける人」講師： 松田智生氏（三菱総合研究所主席研究員） -8期生 青木 美恵-
- ☞ DAY2 秩父市現地視察 「秩父を知る」 -8期生 岩熊 徹-

「豊島区・秩父市共生PJ」DAY1・DAY2 報告

☞ DAY1

基調講演「生涯活躍のまち、いつでも輝ける人」 講師： 松田智生氏（三菱総合研究所主席研究員）

■『秩父市と豊島区の地方居住を考えるワークショップ』第1回 基調講演会
ピンチをチャンスに変える生涯活躍のまち ～いつまでも輝けるひと～

日時： 2016年7月23日（土）14:00~16:00

講師： 松田智生氏（三菱総合研究所主席研究員 チーフプロデューサー）

会場： 豊島区役所 本庁舎5階 507~510 会議室

主催： 豊島区、秩父市 協力： 立教大学、大正大学

開会あいさつ 秩父市 久喜邦康市長

閉会あいさつ 豊島区 水島正彦副区長



久喜秩父市長による開会
あいさつ

『地方居住を考えるワークショップ』第1回の基調講演会は、RSSC プラチナ社会創造研究会ではお馴染みの、三菱総研松田智生氏によるものであった。参加者は80名を超えていたと思われる。

今回も軽妙な松田氏の話術に引き込まれるように、「生涯活躍のまち」（日本版 CCRC）の現状について、参加者は興味深く聞き入っていた。



三菱総研 松田智生氏による基調講演

§ 元気の出ない四文字熟語

世の中には元気の出ない四文字熟語（地方消滅、介護難民、老後破産、漂流老人など）が氾濫するようになったが、これからのシニアは社会のコストではなく、担い手である。健康に暮らし、介護されないことで、若者に支えられるのではなく、逆に若者の転出を抑制することに繋がるなど、アクティブシニアの存在が、箱モノに頼らない「日本版 CCRC」の実現に不可欠であるとのこと。



講演会での質疑応答の模様

§ ミドルアッパー層だけが対象なのか？

とはいえ、質疑応答では、「アクティブシニアになれない、体力的にも弱っている人はどうすればいいのか?」、「日本版 CCRC のメインターゲットは、結局金銭的に恵まれている人なのではないか?」などの切り込みに、松田氏が戸惑っておられたようにも思う。

§ 大学連携 CCRC シェア金沢

個人的には、今回も紹介された「シェア金沢」のような取組に、大変興味がある。シニアが住まうだけではなく、近隣大学の学生の住居、福祉・児童入所施設が共存している。「日本版 CCRC」の要素を持つ先進事例として紹介されることが多い。とはいえこの施設は「CCRC」を謳っていない。コンセプトは、「人が直につながり、支え合い、共に暮らす街」、そこには「シニア」の言葉もない。今後の「日本版 CCRC」の、そのタイトルや箱モノイメージから脱却するヒントが、そこにはあるのではないかと改めて思った。

講師の松田先生、主催者の皆さま、スタッフの皆さま、貴重な機会をどうもありがとうございました。

(8期生 青木美恵 記)

☞ DAY2

『秩父市民と豊島区民が地方居住を考えるワークショップ』第2回秩父市現地視察 ～「秩父を知る」～ に参加して

梅雨明け直後の好天の中、我々研究会メンバー22名をはじめ、豊島区民、豊島区職員総勢46名にて秩父市現地視察へと赴いた。今回より野田名誉教授にご参加いただいている。豊島区職員の方々が添乗役、秩父市職員の方々が案内役の形で、バス2台に分乗し、市内とその周辺を視察した。30度を超す日照りの中、早朝からお世話をいただいた両市区職員の皆様に、まずは御礼を申し上げます。



秩父市役所の皆様から当日の行動説明

§ さいたま放送局の取材

今回の視察テーマは、参加者に秩父の魅力を知ってもらい、第3回、第4回(8月20日、27日)ワークショップの基礎知識を養うというものである。当日は、NHKさいたま放送局の取材も入り(翌日朝に放映)、このプロジェクトに対するマスコミの関心の高さが窺われた。



2016年NHKニュース豊島区が「秩父移住」ツアー.pdf



視察コース(ミューズパーク「旅立ちの丘」見学の模様)

§ 観光スポット周遊

今回の視察内容は、主に観光スポット周遊という意味合いが強かった。この日だけで秩父の魅力すべてを知ることには不可能である。また、視察の締めとして市役所「伝承館」において、参加者と秩父市の間で質疑応答の時間が設けられたが、60分足らずであり、秩父市の課題や今後の展望を感得するまでには至らなかった。この点においては、2月に一度秩父市を訪れている視察メンバーにとっては、少々物足りなさを禁じ得ない印象であった。



視察コース(浦山ダムを見学)

§ 稀有な2地域の行政タイアップ共生プロジェクト

ともあれ、このような2地域の行政がタイアップして共生を考えるというケースは、全国でもまだまだ希少であり、研究会にとっても、このようなプロジェクトに参加できることは稀有なチャンスである。

次回以降のグループワークにおいては、RSSCプラチナ創造研の単独テーブルを設けてもらい、その後「提言書」を策定・提出する予定となっている。今回の視察全般から感じたものを、今後の検討の糧として活用できればと思っている次第である。



参加者全員の集合写真

(8期生 岩熊 徹 記)

※当日視察場所 (参照)

地方居住を考えるワークショップ 秩父市現地ツアー行程

表 平成28年7月30日(土)

08:30 池袋発

09:52 西武秩父着 (ちちぶ7号 82分)

10:00 概要説明

於：秩父市歴史文化伝承館1階研修室

※副市長挨拶 ※参加者紹介

10:15 出発 10分(1.7Km)

10:30 羊山公園 ※芝桜の丘 バス 3分 (1.0km)

※忠霊塔

※武甲山資料館 (10:45~11:10)

バス 20分 (6.6km)

11:35 浦山ダム

※浦山ダム防災資料館「うららびあ」

(11:40~12:00) バス (12:15~12:25)

12:30 昼食

※太鼓亭 (Tel0494-54-0150) (12:30~13:10)

バス (13:15~13:30) 15分 (9.4km)

13:30 ミューズパーク

※旅立ちの丘 (音楽寺まで徒歩10分)

or

※展望台 (音楽寺まで徒歩30分 1.6km) ←時間に

余裕がある場合

13:40 札所23番音楽寺

バス (13:55~14:05) 10分 (4.9km)

14:10 じばさんセンター

※秩父駅前 (じばさんセンター) で降車

※バスは、まつり会館駐車場で待機

※お土産 (14:15~14:45) 徒歩 2分 (140m)

秩父神社 (14:50~15:10) 徒歩 0分 (20m)

秩父まつり会館 (15:15~15:45) 徒歩 10分 (650m)

16:00 意見交換会

於：秩父市歴史文化伝承館1階研修室

17:00 伝承館出発 徒歩5分

17:25 西武秩父発

18:46 池袋着 (ちちぶ40号 81分) 時間等の詳

細は添付別紙を参照 (了)

以上

RSSC プラチナ社会創造研究会

代表 8期生小池 久雄、副代表 8期生岩熊 徹、

総務 8期生青木 美恵 rsscplatinum@gmail.com